

# Hi!かしま



鹿嶋市国際交流協会

第28号 2011年9月30日発行

日頃より、鹿嶋市国際交流協会に熱い声援、御協力賜わりまして有難うございます。  
今回もようやく「Hi!かしま」第28号を発行することが出来ました。

東北地方太平洋沖地震発生から半年が過ぎました。この地震により被災された数多くの皆様に心からお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興をお祈り申し上げます。

## 国債交流パーティー開催 2011-07-31

毎年恒例の交流パーティーが今年もにぎやかに開催されました。

今年はより多くの方に参加して頂くため、会場、料理など、検討を重ね、住金マネジメント株式会社人材開発センターでの開催となりました。



▲浴衣姿の鹿嶋学園の中国留学生たち  
(衣装提供、着付けは給前呉服店)



▲美味しいそうなお料理！！



当日は中国、アメリカ、韓国、タイ、フィリピン、など11か国からの外国人参加者45名を含み、200名を超える参加を頂き、バンド演奏、中国留学生の踊り、輪になって鹿嶋、みんなの歌(「小さな世界)などのアトラクションで盛り上がりました。

☆◆

～～新入会員感想～～



私は昨年 2 月知人の井出本さんに頼まれて、国際交流協会が主催した「外国人による日本語スピーチコンテスト」の裏方の手伝いをしたのがきっかけで、国際交流協会の会員として入会しました。その後、7 月に国際交流パーティーに参加する際、隣家の目黒夫妻に入会の勧誘をしたところ、奥さんが一般会員として入会していただきました。

国際交流パーティー当日には、家内、目黒夫妻をはじめ柏崎さん夫妻にも声を掛けて出席してもらいました。当日会場は約 200 名の参加者(約 50 名程が外国人)が参加して、外国人参加者の歌や踊り、お国自慢が披露され、又、鹿嶋市の市長にも来賓としてご参加頂き、賑やかな親睦と交流が行われ、私の心に残った大きな印象の一つとなりました。10 月の鹿嶋まつりでは、病気入院の為、当会員の一人として、お手伝いが出来ませんでした。神奈川県相模大野から田舎暮らしを目指して、今年 10 月で満 4 年目になりますが、初めて鹿嶋住民としての充実を感じました。

その他国際交流協会は「語学講座」、「国際理解授業」、「茨城県医療通訳・ボランティア研修会共催」、「鹿嶋市漢語角開講式支援」、「三市交流会」等地味な活動を通して異国の地より来日された方々が言語の壁を越え、文化、風習等全てに努力、順応されながら、たくましく生活されている方々を支援続けている活動事業に触発されて、入会して良かったと感謝しております。今後とも協会発展のため微力ながらお役に立ちたいと思っております。

鹿嶋市国際交流協会会員

(入会 1 年 6 ヶ月目) 島松仁史

☆◆

～～講演会開催・2011-09-10～～

京劇ワークショップ：中国の伝統文化を体験する

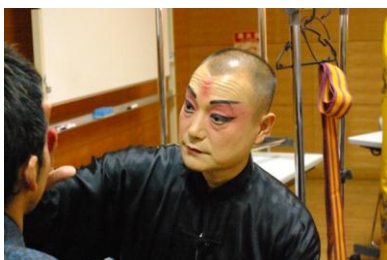
北京市戯曲学校で京劇を専攻し、現在日本で京劇役者として活動されている魯大鳴(ルー・ダイメイ)先生をお迎えし、映像や実際の演技指導を通して、中国語や京劇を含めた中国文化の魅力を紹介しました。



▲講演会会場：会員・非会員合わせて 130 人程度の来場者。



▲魯大鳴先生



総合的な舞台芸術である京劇の、中でも特徴である化粧、立ち回り、音楽などの実際について丁寧な説明があり、興味深い講演となりました。

聴講者も 120 名ほどで勤労文化会館の研修室がほぼ満杯となり盛況のうちに終了しました。

☆◆

## 東北震災復興支援バスツアーに参加

富山 博次

春日 幸子

連日3・11東日本大震災の報道を見る度に、何か出来る事はないかと日々、思っていました。国際交流協会会員でもある食育グループ「たんぼぼ」代表の渡辺けい子さんの凄い行動力、求心力に感銘を受け、8月11日に東北震災復興支援バスツアーに参加しました。

宮城県七ヶ浜では、渡辺さんのご主人様の実家を含め被災された延々と続く家並み跡を見るに、一軒一軒の方の安否、その後の生活を思うと胸が痛くなりました。七ヶ浜は人口1万5千人、漁業と農業の町ですが、田畑は全滅、470世帯のうち400世帯は津波に飲み込まれ、70世帯の76名が現在コミュニケーションが取れるように地域ごとに仮設住宅に住んでいました。生活していく上で必要な義援金がまだ届いていないので、1日も早く支給されるようにと願ってありました。

身の廻りでどんな小さな事でも良いので、日本全体が支援し続ける事が大事であると思いました。又、石巻、東松島、七ヶ浜の各ボランティアセンターでは、ひたむきに奉仕する多くの若者達を見て、頭が下がる思いで、人の優しさ、素晴らしさを痛感しました。日本も、今の若者も捨てたものではないと安堵しました。国際交流で御世話になっている布浦万代先生による、東北の万葉集の解説も素晴らしく、この歴史ある、由緒ある東北の地が一日も早く復興する事を願うと共に支援が1回限りではなく、今後も思いのある人で支援を続けていけたらと思っています。





## 会員募集中

問い合わせ：鹿嶋市国際交流協会事務局

連絡先：〒314-0034 鹿嶋市鉢形 1527-4 鹿嶋市交流会館 2F

TEL&FAX：0299-82-2241 E-mail：[kokusaikoryu@sopia.or.jp](mailto:kokusaikoryu@sopia.or.jp)

※上記連絡先が不在の場合は、鹿嶋市役所まちづくり推進課にお問い合わせ

合わせ下さい：TEL：0299-82-2911

FAX：0299-82-2915